

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立新居浜南高等学校

学校番号 (6)

評 価 実 施 日	令和7年2月17日(月)	
委 員	評 価 者	備 考
	学校関係者評価委員 (総合学科育成会会長)	
	学校関係者評価委員 (PTA会長)	
	学校関係者評価委員 (総合学科育成会副会長)	
	学校関係者評価委員 (PTA副会長)	
	学校関係者評価委員 (PTA副会長)	
	学校関係者評価委員 (PTA副会長)	
	学校評議員	
	学校評議員	
	学校評議員	
	学校評議員	
	学校評議員	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 組織運営等 ・各行事、会議においてすばらしく感じる。 ・評価はプラスで数値も高い。 ・教職員の心身に配慮してほしい。 ・アンケートの数値は高く、健全に運営されている。 ・教育目標に向かい、教職員が各ポジションで活動していくことが大切である。	・業務の精選や方法の選択など、教職員の働き方改革に結び付けるとともに、教育効果を高めていきたい。 ・教職員の協働する場面を増やす中で、コミュニケーションの活性化を図り、それぞれの力量を発揮できるような職場環境を目指したい。
2 教育課程・学習指導 ・進学、就職ともに成果が出ている。 ・8系列の特色がよく生かされている。 ・総合学科の特色を生かし、頑張してほしい。	・総合学科の特色を反映した教育についてより深く探究していく。 ・端末を活用した個別最適化された教育の実践を推進し、全教職員がICT関連のスキルアップを図る。 ・生徒の進路実現のために、教育課程を見直しながら体験型学習や講演等を取り入れ、楽しく学ぶ環境を目指していく。

<p>3 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校歌を元気よく歌うことを含め、明るい校風となっている。 ・生徒の身だしなみが良い。 ・生徒課長を中心に指導が行き届いている。 ・挨拶をきちんとできる生徒が多くて良い。 ・教職員の洞察力が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人を大切にされた適切な生徒指導を継続していく。 ・式典等で元気よく校歌を歌うことを定着させていきたい。 ・基本的な生活習慣を身に付けさせるように、教職員が共通認識していきたい。
<p>4 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果が出ている。 ・国公立大学への進学も総合学科の個性が生かされている。 ・生徒個人がめざす進路指導をしてほしい。 ・進路だよりが充実している。 ・教職員からのアドバイスの結果が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校3年間を見通した進路指導を推進し、生徒個々の進路実現に結び付けていく。 ・総合学科の特色を生かした学習指導を実践し、それぞれの系列ならではの進路指導を推進する。 ・アンケート結果において生徒と保護者に乖離があった。情報発信を適切に実施し、保護者との連携を密にしていきたい。
<p>5 特別活動・ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへ参加した生徒の姿勢がすばらしかった。 ・ボランティアの南高として地域に根ざしている。 ・評価は低いですが500名以上の参加は十分である。 ・ボランティア参加が特定の部活動に限られている印象がある。まだまだ伸びしろがありそうなので今後期待している。 ・児童センター等の小さな子供と関わるととても癒され楽しそうに活動している。もっと参加人数を増やしてみてもどうか。 ・部活動は各部とも意欲的に活動している。成績もすばらしい成果を残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の自己評価が低い結果となっているが、数値目標の設定を見直す必要がある。 ・ボランティア活動に係る生徒が限定化しつつあるので、全校生徒が様々な活動に参加できるように情報提供していく。 ・部活動は各部活発に活動しており今後も継続していきたい。 ・総合部(少人数)の活動を積極的に後押ししていきたい。
<p>6 保健管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好である。 ・評価が低い。 ・感染症対策が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、危機管理マニュアルを大幅に見直した。自然災害等に備え、今後も安心・安全な学校運営を行う。 ・施設・設備を常に点検し、必要な整備を進め、教育環境を維持していく。 ・地域との連携を深め、指定緊急避難場所・指定避難所であることを再確認し、減災に努める。
<p>7 人権・同和教育、特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の評価が高い。 ・個性を生かすとともに、生徒間の様子をよく見てほしい。教師とのコミュニケーションを密にしてほしい。 ・経験豊富な方々に講演を増やしていただくと生徒の心に響くのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題について、生徒・家庭・教職員全体で共通理解を図り、人権意識に根ざした教育をめざしていく。 ・人権だよりを継続して発行し、生徒や家庭の人権意識の高揚に結び付け、啓発活動に努める。 ・人権講話など、外部講師からの指導機会を増やし、感性に訴える教育に取り組む。

<p>8 図書・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好である。 ・図書館の利用工夫が必要である。 ・アナログである図書の在り方を再考する必要性を感じる。 ・読書離れを感じる。 ・史実に忠実な映画(DVD)などの貸し出しはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用の在り方や利用促進の方法についてさらに工夫して、図書館の魅力化を推し進めていく。国語科を中心に、授業での図書館利用を検討していく。 ・デジタル図書について、有用性を認めつつ、視力等を含めた健康面への影響など、今後の研究が必要である。 ・朝の読書の時間において継続可能な読書習慣を定着させことを貸出冊数の増加に結び付ける一つの方策としていく。
<p>9 ICT（情報通信技術）教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット活用を教員が工夫し、技術向上を図るとよい。 ・評価が低い。 ・HPをよく見ている。学校の様子が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した授業を推進してきた結果、活用実績は上がってきている。 ・より効果的なICT機器の活用を研究していく。 ・教職員の活用研修の機会を増やし、技術向上等に努めたい。
<p>10 教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室活用の様子が分からない。 ・生徒が一步を踏み出す勇気が必要か。 ・支援が必要な生徒が増えている。生徒の悩みは何か気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室の利用状況についての資料を準備したい。 ・担当課の先生とスクールライフアドバイザーが生徒や保護者との相談業務に当たっている。その活用方法をさらに広報していき、利用を促進していきたい。 ・ICTを活用したアンケートからの把握や面談等で、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に引き続き努めていく。 ・関係教職員間での情報共有を密にし、一人一人に寄り添う指導をしていく。
<p>11 保護者、地域住民との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好である。 ・義務教育とは違い、保護者の出番が少ない。地域とのつながりはすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした学校教育を今後も継続していきたい。 ・各系列が特徴を生かし、地域とつながる教育活動を推し進めていきたい。 ・PTA活動はPTA会長を中心に、連携を密にし、協力体制をさらに強いものにしていく。 ・地元の公民館等と以前にも増して地域と連携を図り、各種学校行事の盛り上がりや各系列の特色、ボランティア活動につなげていく。
<p>12 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間（ライフスタディⅠ・Ⅱ）」等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばらしい研究発表を見た。 ・発表会で活動内容がよく分かった。 ・総合学科としての本領を発揮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色ある行事「ライフスタディⅡ発表会」で、今までと同様に、多くの方々から賞賛を得られるように探究活動を推し進めていく。

<p>13 事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話の対応が気持ちよい。 ・丁寧な対応に感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務全体の効率化を図る。 ・今後も丁寧な接遇に努める。
<p>14 総合評価、提言等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系列選択が時期的に難しい。 ・資料が盛りだくさんあるのでじっくり見たい。 ・ホームページで生徒がいきいきと活動している様子が見られてうれしい。 ・別子銅山など地域の資源を生かした学習や情報発信活動は南高の存在を大いにアピールしている。 ・校長先生をはじめ、先生方の熱心で献身的な教育活動に感謝している。先生方が疲弊していないか心配である。 ・小規模校なので今後の存続について不安がある。 ・落ち着いた生徒が多く、さわやかな挨拶ができる生徒も多い。先生方に感謝している。 ・校舎の老朽化が進んでいるので心配である。 ・素直でまじめな生徒が多く、青春を謳歌してほしい。卒業後も楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・系列選択は1年次2学期後半から実施となるが、各系列の特徴や学習内容をさらに丁寧に指導していきたい。 ・保護者から「南高に入学させてよかった」という言葉をさらにお聞きできるように安心・安全な学校運営を心掛けていく。 ・小規模校ならではの一人一人に寄り添う丁寧な指導を継続し、生徒、保護者、地域から信頼される学校づくりをしていく。 ・ユネスコスクール、地域共創系列の活動を充実させ、様々な体験学習ができる環境整備をしていく。担当教員の育成に努めたい。 ・生徒数を確保していくためにオープンスクールの充実や小中学校との連携をさらに深めていきたい。 ・教職員の働き方改革や業務改善等に取り組み、超過勤務時間の減少や業務量の平準化に努めたい。